

# あ 翔

あめつちほしそらやまかはみねたに  
くもきりむろこけひといぬうへすゑ  
アメツチホシソラヤマカハミネタニ  
クモキリムロコケヒトイヌウヘスエ  
天地星空山川峰谷雲霧室苔人犬上末  
安以字衣於加幾久計己左之寸世曾太

- ABCDEFGHIJKabcdefghijklmnopqrstuvwxyz0123456789,!.?\*
- ABCDEFGHIJKabcdefghijklmnopqrstuvwxyz0123456789,!.?\*

18Q / 28H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二等客車の隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を待っていた。とうに電燈のついた客車の中には、珍らしく私の外に一人も乗客はいなかった。外を覗くと、うす暗いプラットフォームにも、今日は珍しく見送りの人影さえ跡を絶って、唯、

60Q / 72H

## 或曇った 冬の日暮である。

24Q / 36H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二等客車の隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を待っていた。とうに電燈のついた客車の中には、珍らしく私の外に一人も乗

24Q / 36H  
或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二等客車の隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を待っていた。とうに電燈のついた客車の中には、珍らしく私の

31Q / 36H  
或曇った冬の日暮である。  
私は横須賀発上り二等客車の隅に腰を下して、

56Q  
或曇った冬の日暮である。